

道徳通信

2021. 10. 8
陽北中学校

1学期が終わり、気持ち新たに新学期を迎える時がきました。生徒たちは、冒険活動教室、修学旅行、運動会などの行事に主体的に参加し、また日々の様々な活動に意欲的に取り組んでいます。それらの活動全般において、常日頃から行われるのが道徳教育です。さらに、道徳科の授業では、自分を見つめ直し、友人の様々な考えに触れながら、人としてよりよく生きるための学習を行っています。

さて、道徳の時間が「特別の教科 道徳」として教科化され、3年目を迎えました。学校で行っている学習の内容や様子などを、この便りを通してお伝えしていきたいと考えています。

陽北中学校 道徳教育

本校の教育目標

- 1 自ら考え、主体的に学ぶ生徒
- 2 活気に満ちた、たくましい生徒
- 3 心豊かで、思いやりのある生徒

本校の校訓

聡く 強く 美しく ~そして陽北中生としての誇りを持つ~

これらを体現できる生徒を育てるための道徳教育を行っています。

- ① 自己を見つめる。
 - ② 物事を広い視野から多面的・多角的に考える。
 - ③ 自己の生き方や人間としての生き方についての考えを深める。
- これらの学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

道徳科の内容

- A 主として自分自身に関すること（自主、向上心、個性の伸長、希望と勇気など）
- B 主として人との関わりに関すること（思いやり、感謝、礼儀、友情、相互理解など）
- C 主として集団や社会との関わりに関すること（国政、公平、勤労、家族愛、国際理解など）
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
(生命の尊さ、自然愛護、感動、よりよく生きる喜びなど)



授業の様子

1学年 教材名「裏庭での出来事」 （自主、自律、自由と責任）
☆教材について

友達に誘われ、ボール遊びにふさわしくない裏庭でボールを蹴り、ガラスを割ってしまった健。そのうえ、その場の流れにのまれて、友達に責任転嫁してしまった。しかし、翌日、健は、ガラスを割ったのは自分だということを先生に報告しようと行動を起こす。健の行動の背景にある考えを捉えさせ、自分の行動に責任を持つことについて考える内容。



自己を見つめる時間



友達との意見交換時間

- 生徒の声**
- ・自分がやったことから逃げない。
 - ・自分中心ではいけない。
 - ・よく考えてから行動し、自分の行動には責任を持つ。
 - ・自分が決めたことはきちんとやり遂げる。
 - ・人任せにした行動をとらない。自ら考えて行動する。

